

鎌倉映画茶論【大江戸五人男】

「カフェサンスーシ」映画鑑賞の集い

名作は何度見ても新たな発見と感動を与えてくれます



1月18日(木)

16時より無料上映

坂東妻三郎!

於: カフェサンスーシ

(鎌倉雪の下 3-10-23)

清泉小正門)

要予約 0467-23-7223

毎月第三木曜16時～感動の名画・永遠の名優と共にお過ごし下さい

～ 作品紹介 ～

1951年(昭和26年)松竹 伊藤大輔監督 132分

武勇を以って徳川側近を護った旗本は平隠な治世の冷遇に憤懣が溜まっていた水野十郎左衛門(市川右太衛門)を組頭とする白柄組は山村座での中村あやめ(河原崎権三郎)一座の芝居の邪魔だてをし、取りなした町奴幡随院長兵衛(坂東妻三郎)一家を眼の敵としていた。川崎詣りの帰途難儀を救い食客とした白井権八(高橋貞二)が吉原で全盛の花魁小紫(花柳小菊)を白柄組と争い、彼等を敗退させたことが水野の長兵衛への憎しみに油を注いだ。水野は腰元おきぬ(高峰三枝子)を寵愛していたが、他に縁談があった折家宝の南蛮絵皿を壊したことでカッとなりおきぬを切り捨ててしまう。おきぬの兄魚屋宗五郎(月形龍之介)からこの話を聞いた権八はこの事を芝居に仕組んで上演させる。山村座に乗り込んだ白柄組の一党は、おきぬ役を演ずるあやめを拉致、水野の屋敷に檻禁し、あやめを引渡すと長兵衛に誘いをかける。引とめる子分たちを振り切って単身水野十郎左衛門の屋敷へのり込んだ長兵衛の運命や如何!